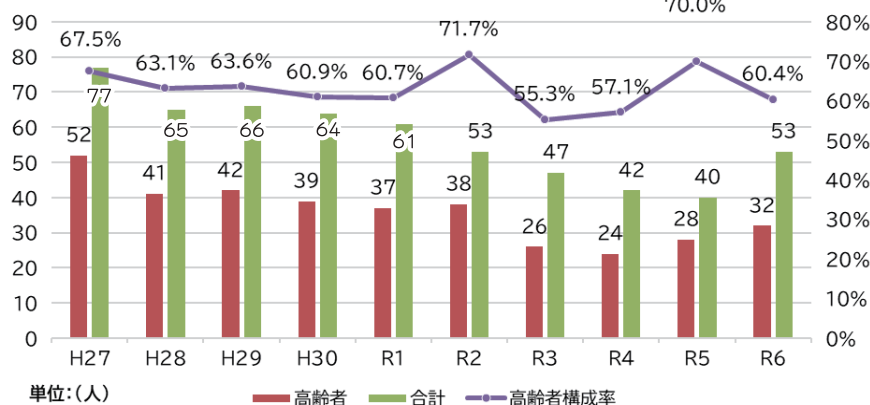


# 令和7年高齢者交通事故防止のポイント

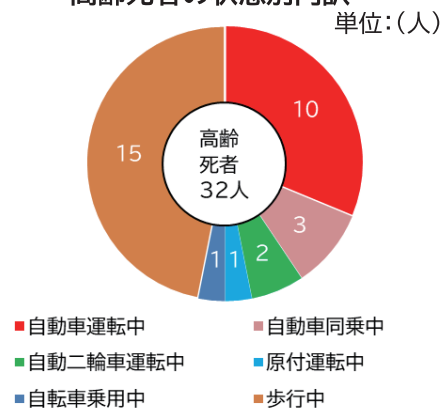
このパンフレットは、高齢者の交通事故状況や高齢者の特性を踏まえ、交通事故防止のポイントをまとめたものです。パンフレットをご覧の皆さん、このポイントを参考に、交通事故防止に努めてください。

## 高齢者事故の現状（令和6年中）

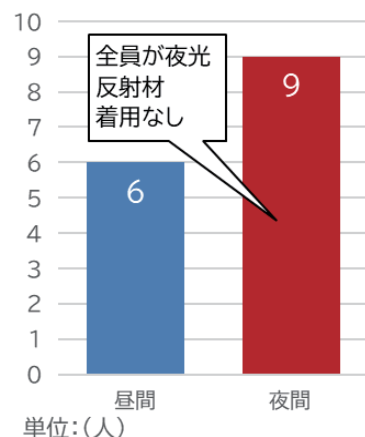
交通事故死者に占める高齢者の割合の推移（H27年～R6年）



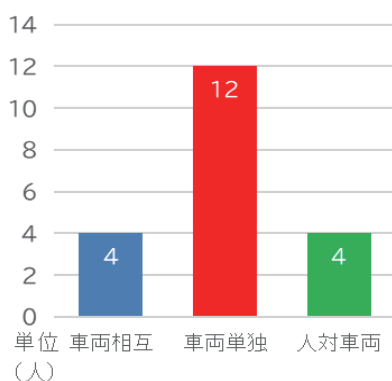
高齢死者の状態別内訳



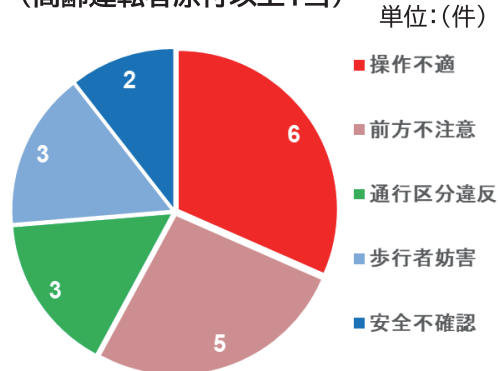
高齢歩行者の昼夜別死者数



事故類型別高齢死者数  
(高齢運転者原付以上1当)



高齢運転者違反別死亡事故件数  
(高齢運転者原付以上1当)



## 特徴

- 交通事故死者数が7年ぶりに増加し、全交通事故死者数に占める高齢者の割合は約60.4%と高水準（平成15年から22年連続で全死者の過半数を高齢者が占める）
- 夜間歩行中死者は9人で、前年比+6人と増加し、全員が夜光反射材非着用
- 高齢運転者第1当による事故の類型別では、車両単独事故が半数以上を占める
- 高齢運転者第1当による交通死亡事故は、ハンドル・ブレーキ操作不適と前方不注意が大半を占める。

※第1当事者：交通事故の当事者間に過失（違反）の軽重差がある場合は、重い方の当事者をいう。

当事者の過失（違反）の程度が同程度の場合は、損傷の軽い方の当事者をいう。

これらの特徴を踏まえて、交通事故防止に努めましょう！



鹿児島県警察

